

Course number		U-LAS01 10001 LJ38					
Course title (and course title in English)		日本史Ⅰ Japanese History I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, YOSHIE TAKASHI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		History and Civilization(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Mon.2		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
日本古代政治史の研究 摂関政治の確立							
日本における古代国家の変容を政治史という側面から把握し、古代日本の特質について理解することを目的とする。今期は、摂政・関白による政治が確立する10世紀前葉から後葉にかけての政治動向を取り上げ、先行学説を紹介するとともに批判的に検証を行う。こうした作業を通じて、国家の様相や変遷を客観的に捉える視座を養うことを目指す。							
[Course objectives]							
日本古代史における正確で幅広い知識を獲得するとともに、これまでの研究の流れを自分の力で整理し、それらを客観的・批判的に把握して、自らの歴史像を組み立てるための技術を習得する。							
[Course schedule and contents]							
7世紀後葉に開始された律令政治は、8世紀後葉から変質をはじめ、長い過渡期を経て10世紀後葉に摂関政治へと転成した。摂関政治は律令制的な外皮をまといながらも、中世的な側面を多く含んでおり、前近代の基礎は、摂関政治の時代に築かれたと言っても間違いはない。今期は、摂政・関白が常に置かれるようになり、摂関政治の確立するといつてよい10世紀前葉から後葉にかけての政治史を考察する。まずは摂政と関白との関係性が整理され、摂関政治が確立していく様子を概観する。次いで、内裏の焼亡や財政制度の再編、社会秩序の変容といった観点から、摂関政治の背景として存在する社会の変質について考察する。最後に、天皇の外戚と摂政・関白との関係がどのように変化していったのかを論じ、摂関政治の特質について検討する。							
第1回 イントロダクション 平安時代前期の政治史概観							
第2回 摂関政治の確立過程(1)							
第3回 摂関政治の確立過程(2)							
第4回 内裏の焼亡(1)							
第5回 内裏の焼亡(2)							
第6回 財政制度の再編(1)							
第7回 財政制度の再編(2)							
第8回 社会秩序の変容 皇朝十二銭の終焉を中心に (1)							
第9回 社会秩序の変容 皇朝十二銭の終焉を中心に (2)							
第10回 安和の変の歴史的位置(1)							
第11回 安和の変の歴史的位置(2)							
第12回 花山天皇の出家(1)							
----- Continue to 日本史Ⅰ(2) -----							

日本史Ⅰ(2)

第13回 花山天皇の出家(2)
第14回 総括
第15回 期末試験 / 学習到達度の評価
第16回 フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

期末試験(筆記)にて成績評価する。

[Textbooks]

Not used

授業中にプリントを配布する。

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業の進行はシラバスに記載の通りであるので、授業の進行を確認の上、各回の授業内容を想定し、予習をすることが望ましい。

[Other information (office hours, etc.)]

授業はPowerPointを用いて講義形式で行う。